



# 第3回 オンラインセミナー

令和6年1月12日(金) 13:00~14:50

## 本日のプログラム

- 13:00～ 1.挨拶
- 13:02～ 2.イントロダクション
- 13:07～ 3.有識者による講演
- 13:17～ 4.事例紹介
- 13:47～ 5.パネルディスカッション
- 14:27～ 6.質疑応答
- 14:37～ 7.関係府省庁からの発表
- 14:47～ 8.閉会

### 【質疑応答について】

質問は**ウェビナーのQ&A機能**にて受け付けますので、積極的にご質問ください。  
「6.質疑応答」の時間に、申込時に受領した質問も含めて、まとめて回答いたします。

# 1 挨拶

## ② インTRODクシヨN

# スマートシティ化におけるデジタルリテラシーとは

スマートシティのサービス導入において、地域全体のデジタルリテラシーの欠如は課題であり、各地域におけるスマートシティの実現の妨げとなっています

## ◆ デジタルリテラシーとは

- ▶ デジタルリテラシーとは、デジタル技術を理解して適切に活用するスキルのことです
- ▶ デジタル技術そのものやスマートシティサービスへの理解だけにとどまらず、スマートシティ推進がもたらす様々な影響（市民のWell-beingへの影響や地域全体への経済波及効果など）についても理解することが望ましいと考えられます

## ◆ デジタルリテラシーの欠如がもたらす課題とは

**自治体の職員全員がデジタル化の重要性を理解していないことで、財源が確保しにくい**

- ▶ 行政内のデジタルリテラシーが欠如していると、スマートシティ化によるメリット等が理解が醸成されず、行政内部の財源確保が困難となる



**自治体の職員がデジタルサービスを理解していないことで、事業が円滑に進まない**

- ▶ 複数のサービスアイデアを民間事業者から提案された際に、自治体が真に必要なものを選ぶことができない
- ▶ スマートシティサービスを提供している事業者は数多く存在しているが、自治体内の理解が不足しているがゆえに事業が滞る



**市民がデジタル化がもたらす影響を理解していないことで、市民の参画が得られない**

- ▶ スマートシティ推進にあたり、市民の理解が得らず、サービスを導入しても利用に結びつかない
- ▶ 市民の情報を必要とするサービス（個人情報が必要とするデータ連携基盤等）を構築する際に、市民の参画意欲が低く、サービスの展開・高度化が図れない



等

**➡地域一体としてデジタルリテラシーを向上させることが望ましいです**

# デジタルリテラシー向上の取組手法

デジタルリテラシー向上は、行政内部だけでなく事業者や市民等といった地域全体で取り組むことが重要です。様々な取組手法があるため、自地域の現状を踏まえたうえで適切な手法を選択する必要があります

## ◆ デジタルリテラシー向上の取組方法

### 行政内部における デジタルリテラシー向上の取組

- 体系的な研修等の開設
- デジタルスキルの評価制度の導入
- DX推進専門の部署や責任者の配置
- デジタルスキルを有する人材の登録制度構築
- 外部のデジタル人材の登用



### 地域全体における デジタルリテラシー向上の取組

- セミナーやワークショップ、説明会等のイベントの開催
- スマートシティスクール等の、体系的なカリキュラムや講座の開設



## 3 有識者による講演



### 自治体DX白書編集委員会（株式会社電通総研） 馬場 宏和氏

- 取組概要：自治体のDXの支援を多方面から実施し、庁内や地域のスマート化を推進する際に庁内のマインド構築や体制構築等のポイントを複数取りまとめている。
- 略歴：国及び自治体向けプロジェクトや地方創生コンサルティング、スマートシティ、自治体DX導入支援に従事。

## 4 事例紹介



### 東京都デジタルサービス局

#### サービス開発担当部長 DX 推進統括担当部長兼務 荻原 聡 氏

- 取組概要：都では2023年4月から各局CIO補佐官を導入。CIO統括補佐官は、全庁的な情報システムの整備等の企画及び推進を統括すると共に各局CIO補佐官と緊密に連携。
- 略歴：2019年4月に入都。戦略政策情報推進本部情報企画担当部長を経て、現職において民間出身のデジタル人材の統括と区市町村等のDX推進の伴走型支援等を担当。



## 4

## 事例紹介



松山アーバンデザインセンター（UDCM）/ディレクター  
愛媛大学防災情報研究センター/特定講師 三谷 卓摩 氏

- 取組概要：地域の社会人や学生向けにスマートシティやまちづくりを实践する参加型学習プログラム「アーバンデザイン・スマートシティスクール松山」の取組等を実施。
- 略歴：復建調査設計株式会社、東北大学助教、東京大学大学特任助教などを経て、2020年4月より現職にて松山スマートシティプロジェクトを担当。

## 5 パネルディスカッション

# パネルディスカッションのテーマ一覧

テーマ	
1	庁内でDX人材育成を仕組み化するコツについて
2	産官学の役割（外部人材と連携するメリット）
3	市民のデジタルリテラシー向上やスマートシティへの理解醸成の取組ポイントについて

# 1. 庁内でDX人材育成を仕組み化するコツについて

## 2. 産官学の役割（外部人材と連携するメリット）

### 3. 市民のデジタルリテラシー向上やスマートシティへの理解醸成の取組ポイントについて

## 6 質疑応答

## 質問事項

1

防災分野におけるデジタルリテラシーの向上について教えてください。

2

3D都市モデルなどに代表されるデータ基盤の整備については、収入にはすぐに結びつかないため、民間事業者による整備や、行政においても予算確保が難しいが、予算確保の工夫点を教えてください。



## 7 関係府省庁からの発表

## 8 閉会